

# 高田の花見に参加して

横浜市神奈川区 中島幸雄（寺町二丁目出身）

久し振りに、故郷高田の花見に参加しました。今年の様に天候に恵まれ、桜も満開の花見は、故郷を離れてから何十年振りの経験でした。丁度 第八回ふるさと交流会が四月九日／十日に行われ、更に私が卒業した大手町小学校の同期会が四月十日に催されたので、両方を兼ねて故郷を訪れた訳です。

過去何回か四月上旬に仕事や同級会の折、花見に行った事はありますが、何時も早すぎたり、花が散ってしまったたり、悪天候だったりでした。

九日朝 東京を発ち昼過ぎ高田に到着。当日は快晴。途中車窓から雪景色の妙高山を背景に満開の桜が見えた時、故郷に戻って来たと言う想いがしました。

ホテルで旅装を解き、高田城址の観桜会会場までのんびり歩きました。青田川（昔の面影は在りませんが）土手に咲く桜

並木も美しく感じられました。高田城三重櫓、土塁、濠に満開の桜が映える「ふるさと上越ネットワーク ふるさと交流会会場」で上越市の関係者に迎えられました。十五時三〇分から木浦市長をはじめ約三千余名が集まり、観桜の宴が始まりました。関係者の精魂込めて用意された美酒、料理を頂きながら楽しいひと時をすごしました。西の山々に夕日がかか

る頃、高田公園の桜並木がライトアップされ、雪洞に灯が入り日本の三大夜桜の幕が切つて落とされました。私が高田に住んでいた頃の夜桜に比べ規模も大きくなり、管理運営も大変と感しました。

翌日 大手町小学校の同期会に参加した後、再び高田公園へ同級生と花見に出掛けましたが、当日も晴天で且つ土曜日の為、人出は多くプロムブプロムナードは歩けない程でした。

夜、街の居酒屋で、店の人と話をしたところ花見に限らずレビート客を誘く「種」を探して街の過疎化を防止したいとの事。私も同感です。

またこの様なイベントに参加出来る機会を楽しみに筆を置きます。



# お花見

野田市 澤 カツ子（諏訪村東中島出身）

「Jネット」で桜の苗木寄贈の時、「昭和二十五年三月上千原小学校卒一同」と言うネーム板をつけました。いつか、同級会をこの桜の花の下でやりたいと思っただけだ。

まだまだ、ずーと先のことになるでしょう。

四年前の「Jネット」の観桜会での幻想的な花吹雪のシーンを思い出し、今年は高田の桜の下で同級会をやろうと高桑さんに声を掛けたら、恩師の金子、大田先生を含めて十六人の参加を得て、「Jネット」の皆さんとの宴の輪に加わることが出来ました。

高田の桜には厚みがあると東京から出席の工藤さんが言います。たしかに、高田の桜は木の多さからも厚みを感じます。会場の「Jネット」の桜も大きくなって私達

を歓迎してくれているようでした。

毎年野田の清水公園の花見が一番喜んでお酒を飲んでいた高橋さんがいなくなり東京組も寂しくなりました。

「Jネット」の皆さん、市長さん、お世話くださる方々にも歓迎され本当に楽しい花見が出来ました。花冷えを心配しましたが日ざしもあり、花も三重櫓も夕日に映えて一段ときれいでした。それにもまして出席者の顔が晴れやかに見えました。

翌日は手配のバスで北陸新幹線桑取トンネル工事現場へ、ヘルメットを付けての初体験見学です。開通はまだ先のこと、一日も早い完成を願っています。次に直江津港を黒井の展望台から眺め、昔と変わった様子にビックリしました。正善寺工房では蕎麦打ち体験し、自分

で打ったお蕎麦に旬の山菜テンブラを添えて満足でした。ここでは味噌作りも体験し、半年後の熟成待ちです。

三々五々帰途に着きました。皆さん雑踏の中への帰還の始まりです。

来年も皆さんと桜の下で一献交わしたいものです。

